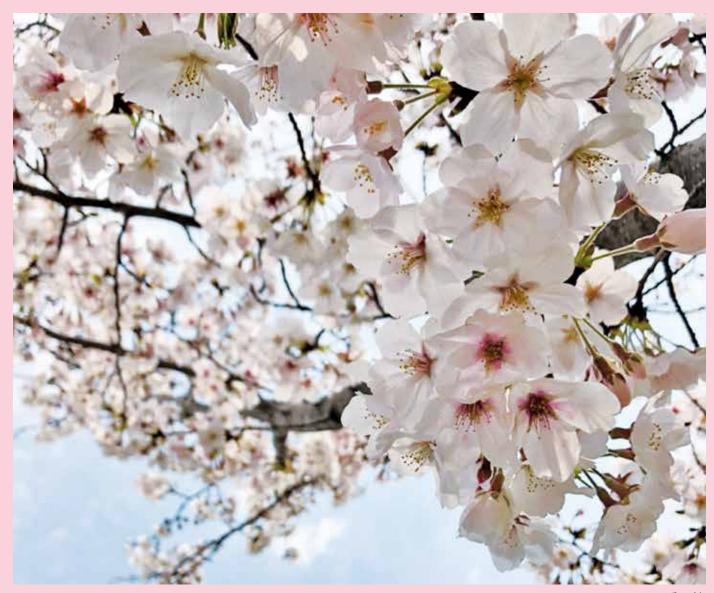
(1) 言義会だより第138号 かわさき

[題字] 川根 節生さん (木城行政区)



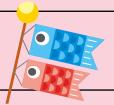
▲De・愛の桜

3月 定例会議

新年度当初予算可決 ······· 2	2	川崎町議会ホームページ	国公司
ReBorn! 川崎町····································	3	川崎町議会ホームページ 川崎町議会 検索 QRコードからもご覧になれます▶	
5人の議員が登壇 ~一般質問~1		http://www.gikai-kawas	aki.com/

今年度の議会だよりの表紙は、≪大好き かわさき町≫がテーマです。 みんなの大好きな川崎町に関する写真のご応募をお待ちしています。

川崎町役場 議会事務局 ご持参または郵送ください [お問合わせ] 議会事務局 ☎72-3000 内線(318・319)



新年度当初予算可決

・予算は、106億1,602万円 令和2年度予算

道の駅基本計画策定業務 安託料

本年度 996万円

De·愛周辺整備事業

2億円

スマートウェルネスシ 推進事業

^{本年度} **2,081**万円

かがやけ川崎 応援寄附金事業

1億8,465万円

などを計上

歳出の主な内訳

議員報酬、議会だより作成経費、議場システム機器 リースなど。

まちづくり推進事業として、

道の駅の基本計画策定業務委託料に996万円、 移住・起業支援補助金に400万円。

インターネット環境をよりよい環境にするために 公衆無線LAN環境整備事業委託料·Wi-Fi回線等利 用料に624万円など。

人権教育推進事業として、

老朽化対策で西田原教育集会所移転新築事業(設計業 務委託、工事費)に5.976万円、放課後児童健全育成事 業(2,340人対象)に**4,091万円**とし充実をはかる。

子どもを守る地域づくりの強化を目的とした、児童虐待 防止対策支援事業などに349万円。



引き続き総合健康診査の無料化を実施。 塵芥処理事業、環境パトロールによる不法投棄監視。 町立病院繰出金など。

諸支出金 **3億6,372**万円 予備費 **3,000**万円

議会費

1億1,678万円

災害復旧費 **501**万円 公債費 14億 3,083万円

総務費 15億81_{万円}

教育費

9億6,057万円

民生費

37億2,967万円

消防費

2億4,318万円

土木費

8億8,893万円

商工費

2億7,198万円

農林水産費

1億4,520万円

衛生費 **9億2,934**万円

金額については千円以下を四捨五入しています

農林水産費



農業委員会費、中山間地域直接支払事業(山間地の棚田など困難な耕作に対する補助)、荒廃した森林の整備など。

過疎対策事業として、町道6箇所の道路整備工事 1億7,600万円、河川維持管理事業として、河川浚渫工 事(木城川)1,000万円など。大峰改良住宅改善事業 3,070万円、豊州改良住宅改善事業2,247万円など。

消防費

消防団費、田川地区消防組合負担金など。

商工費

観光施設の整備として、De·愛周辺整備事業(実施設計委託料・駐車場遊具設置工事(滑り台))に**2億円**とし、まちの観光施設の強化に取り組む。

教育費



中学校統合建設事業として、屋外運動施設及び周辺整備工事などに**3億648万円**。

中学校統合推進事業として、スクールバス運行委託料・バス借上料・自転車通学助成金(対象者338人)などで1,970万円。

防犯灯·防犯カメラ設置事業委託料に118万円、 特別支援教育支援員等委託料に400万円など。

学校給食センター特別会計

1億7,819万円

令和2年度予算 特別会計

国民健康保険事業勘定特別会計 19億6,208万円

住宅新築資金等貸付事業特別会計

1,513万円

後期高齢者医療特別会計

2億2,573万円

令和元年度一般会計補正予算(第5号)は、予算執行に伴う不用額の減額及 び国保会計の赤字解消に伴う一般会計の繰出金の増などにより増額補正となり ました。

各会計の補正予算の主な内容は次のとおりです。

般会計補正予算(第5号)

補正前の額	補正額	補正後の金額
122億9,141万円	1億1,984万円	124億1,125万円

 $\triangle 1,711万円$ ◆後期高齢者医療費に要する経費…………

 $\triangle 1.507$ 万円 ◆ 民間保育所運営に要する経費……………

◆国保会計の赤字解消に要する経費………5億2,496万円

◆ De・愛橋整備事業に要する経費………… $\triangle 2,918$ 万円

 $\triangle 2,698$ 万円 ◆田川地区清掃施設組合に要する経費………

学校給食センター特別会計補正予算(第3号)

補正前の額	補正額	補正後の金額
1億7,077万円	△450万円	1億6,627万円

後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

補正前の額	補正額	補正後の金額
2億3,049万円	△242万円	2億2,807万円

議会だより編集特別委員会が

広報広聴常任委員会 へと変わりました

~川崎町議会委員会条例の一部を改正する条例~

これまでは議会だよりの編集のみを所管としていまし たが、ホームページや SNS を活用しての「広報」、議会報 告会や住民懇談会など、住民の声を聴く「広聴」に取り組 むため新たに常任委員会を設置することが決まりました。

委員会構成は「議会だより編集特別委員会」のときと 同じです。





川崎町農業土木事業に係る受益者分担金徴収条例

これまでは、川崎町補助金の交付に関する条例を準用しており、全体の事業費から国・ 県の補助金を除いた金額の3分の1であったものが、今回の条例の制定で10分の1となりま した。

このことは、地元負担金を軽減することにより、老朽化してくる農業施設の改修などの 事業が取り組み易くなります。

専決処分の報告

統合中学校 校舎建設工事 契約金額を2,171万円追加

- 基礎杭が伸びたことによる建築工事分など……………納950万円
- ●各フロアの多目的ホール用エアコンの追加による機械設備分など…約380万円
- ●備品購入で予定していた機器等を工事として追加した電気工事分など…約840万円

専決処分とは?

町長が地方自治法の規定に基づいて、緊急な場合などに、議会の議決・決定の前に 自ら処理すること

第6次川崎町総合計画 第2次川崎町総合戦略

策定を議決!!

第5次川崎町総合計画・第1次川崎町総合戦略(平成28年3月策定)が 令和2年3月に計画期間終了のため、新たに策定



ReBorn* 川崎町

人を育み、町を創る。 10年先も住み続けたい町へ

総合計画とは

今後のまちづくりの基本

総合戦略とは

総合計画をもとに各分野の 整合を図るもの

第2期 川崎町子ども・子育て支援事業計画

川崎町子どもの未来応援計画

各計画と連携しながら子ども子育て支援施策を推進し、 子育て環境の充実を図る。







嶋秀昭前町長に 一崎町名誉町民の称号が授与されました

手嶋 秀昭 前町長の永き にわたり、町の発展に貢献 され、多大な功績に対し て、川崎町名誉町民の称号 が授与されました。

主な経歴

- 川崎町町議会議員 4期
- 福岡県議会議員 4期
- 川崎町長

2期



発 委

国土強靭化地域計画の策定を町に要請

近年、全国的に集中豪雨の出現頻度が高まっており、川崎町にも被害をもたらせています。

このような災害に対する防止対策が急務となっていることから、議会から町に対し、国土強靭化地域計画を早急に策定し、安心・安全なまちづくりを目指すよう要請いたしました。



意見書

1 医療・介護労働者の人材確保と体制強化の 実現を求め国に意見書を提出

高齢化が進む中で、看護師や介護職の過重労働や人員不足が深刻化しています。 「医療崩壊」、「介護崩壊」をくいとめるために、以下の要望をしました。

- ■全国を対象とした最低賃金(特定最低賃金)を新設し、 賃金の底上げをはかること。
- ☑夜勤改善などの労働条件の改善をはかること。
- 3これらにかかる財源について、国が財政措置を講じること。



JR 日田彦山線の鉄道による早期復旧を要望、県知事へ意見書を提出

地元負担のない鉄道によるJR日田彦山線の早期復旧に関すること

2017年7月の九州北部豪雨で甚大な被害を受けたJR日田彦山線は添田―夜明駅間が不通となり、いまだ復旧の見通しが示されていません。

JR九州は「収支不足」を理由にBRT(バス高速輸送システム)もしくは一般道を走るバスに転換する案を出しています。

川崎町は日田彦山線の沿線自治体であり、駅利用者の確保、交流人口の増加を図るため、県知事に対し運行費用負担を自治体に求めない鉄道での早期復旧をJR九州に求めました。

住民団体懇談

商工会議所との懇談会を開催!

川崎町議会は、議会や町政に関する各種団体の意見や提言・要望を 直接お聞きすることにより、町政の課題・諸問題を把握し、政策提言 を図ることを目的として、住民懇談会を開催しています。

令和2年2月7日の午後5時30分 から川崎町役場庁舎で、議会から は櫻井英夫議長をはじめ全議員と 川崎町商工会議所からは菅原潔会 頭をはじめ19名の役員の出席があ り意見交換を行いました。

主な協議としては、

- ●交通体系の整備について
- プレミアム商品券事業について
- IT化の取り組みについて
- ●道の駅構想について
- 中小企業における高齢化・後継者不足問題について

町の抱える問題や商工会議所事業の取り組みなど、熱心な意見が飛び交い、川崎町を 思う熱い気持ちが感じられる懇談会でした。今後も町の発展のために、住民団体懇談会 を開催していきたいと思います。





2月28日に防災対策(総務)、統合中学校・子育て支援 (民生文教)、町営住宅・観光政策(建設産業)をテーマと した議会報告会の開催を予定しておりましたが、新型 コロナウイルス感染予防のため中止させていただきま した。

今年度はぜひ開催したいと思いますので、その際に は皆さんのご参加をお待ちしてます。







議会日誌

_

	_ · · · ·				
27日	議会運営委員会				
29日	第8回川崎町議会(1月会議)				
29日	全員協議会				
常任委	美員会				
14日	総務委員会				
20日	建設産業委員会				
28日	民生文教委員会				
特別國	美 員会				
8日	議会だより編集委員会				
16日	議会だより編集委員会				
20日	議会だより編集委員会				
研修視察来町•議員研修等					
15日	議員研修会				

2月

25日	議会運営委員会						
25日	全員協議会						
常任委	常任委員会						
7日	建設産業委員会						
13日	総務委員会						
14日	民生文教委員会						
17日	建設産業委員会						
20日	民生文教委員会						
25日	建設産業委員会						
27日	総務委員会						
研修初	見察来町・議員研修等						
6日	愛媛県愛南町議会視察来庁						
7日	住民団体懇談会						
13日	タブレット操作研修						

3月

5日・	11日 議会運営委員会				
13日	全員協議会				
第9回	川崎町議会(3月定例会議)				
3日	本会議				
4日	委員会(総務・民生・建産)				
5日	議会運営委員会				
6日	本会議				
10日	予算決算委員会(補正)				
11日	予算決算委員会(当初予算)				
13日	本会議(一般質問)				
16日	16日 本会議				
常任委員会					
6日	広報広聴常任委員会				
10日・	30日 民生文教委員会				

令和元年度 議員会議出席表

		本		常·	任委員	会		議	視研察	議会だより	全員	議	出	欠	届	公	病	会
		本会議	総務	民生	建産	予算 決算	広報 広聴	運	研修 · 等	編集特別 委員会	全員協議会	議長公務	出席数	欠席数	届出欠	公務欠	欠	会議数
中山	信和	22	13			6	1	14	10	12	7		85	1	1			86
北代	俊雄	21	13			6			5		6		51	2			2	53
小田	卓	22			16	6	1	14	7	11	7		84	3	2		1	87
手嶋勇	真由美	22		17		6	1		7	9	7		69					69
川根	節生	22	13			6	1		9	9	7		67					67
手嶋	康徳	22			17	6	1	15	11	9	7		88					88
松田	孝行	22			16	6			6		7		57	1	1			58
繁永	英樹	22		17		6			2		7		54					54
見月	康一	22		17		6			6		7		58					58
寺田	響	22		17		6	1	15	8	9	7		85					85
千葉力	加代子	22			17	6			5		7		57					57
原	節雄	21		17		6		14	3		7		68	2	2			70
樋口	秀隆	22	13			6		14	7		7		69	1	1	1		70
松岡	久代	22			16	6			4		7		55	1	1			56
大谷	春清	22	13			6		15	8		7		71					71
櫻井	英夫	22	2		1	6		15	9	1	7	146	209					209
出	席	350	67	85	83	96	6	116	107	60	111		1227	11	8	1	3	1238
欠	席	2			3			4		1	1							

= よりよいまちづくりを めざして

一般質問とは、定例会議において、各議員が住民の代表として、行政全般にわたり 町当局の考え方や疑問をただすことです。



問認知症の人の 賠償責任保険の導入を

圏 検証をしながら対応を考えたい

2007年に愛知県で起きた 議員 鉄道事故訴訟で、認知症 の人が原因で事故が起きた時の損 害賠償の責任を誰が負うのかが問 題になっています。最近、損害を 自治体が独自に補填する動きが相 次いでいます。費用は一人あたり 100 円~ 200 円です。本町でも 取り入れていただけませんか。

認知症高齢者の介護をし ておられる家族は、徘徊 等の問題があり、大きな不安を抱 えておられると思いますが、当該 の賠償責任保険については、問題 点を含め、検証しながら対応を考 えてまいりたい。

離婚相手から受け取るは ずの養育費が滞っている 一人親家庭を支援するため、養育 費の受け取りを保障する支援制度 が創設されています。子どもの貧 困対策の拡充にもなるので、導入 の検討はできませんか。

飯塚市の一人親サポート センターで、養育費に関 する質問、相談等にお答えしてい ます。このサポートセンター等を 最大限に活用していただくよう支 援するとともに、制度の検討もし てまいりたい。

安心安全なまちづくりの ための犯罪被害者支援の 条例制定は進んでいますか。

支援策として、県条例に 町長 基づき町の自動販売機か ら年間 5、60 万円程度支援セン ターに届くよう契約を済ませまし た。状況を見ながら必要に応じて 考えていきたい。

問 公共施設のトイレの 改修は

圏 現状把握し、 意見を聞きながら 取り組んでいきたい。

議員 小学校のトイレの現状は。

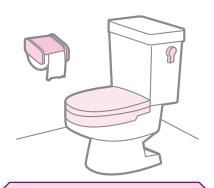
教務 池尻小学校は、大規模改修 【課長」 をしましたので、体育館を 除き全てが洋式、川崎小は全体の 16%、東小は 42%、真崎小は 30%です。

> 町の施設のトイレの和式 と洋式の割合は。

「防災管財」町が維持管理する 15 施 課長」設の便器別洋式化率は 42.5%です。

高齢者は和式トイレの利 議員 用は困難なので、洋式の 暖房便座にしていただきたい。観 光のためにもトイレが一番大事だ と思いますので、前向きに検討し ていただきたい。

今後建て替える、また新 しく作るトイレにつきま しては、十分やっていけます。公 共施設の長寿命化計画を作成中な ので、それに基づいて現状把握は できますので色々な方の意見を聞 きながら取り組んでまいりたい。



他に、「デマンド型タクシー」「タ クシー利用助成」「保健セン ター」について質問しました。

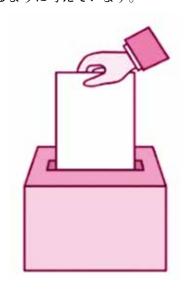
問 投票所入場券に宣誓書の記載を

圏 実現出来るように、前向きに検討



投票時間の短縮、ポス ター掲示箇所の見直し、 投票所入場券に宣誓書の記載につ いてその後の検討はどうなってい ますか。

総務 投票率を考え、投票時間 **課長**」の繰り上げについては、 慎重にならざるをえない現状で す。投票所入場券に宣誓書という ことについては、次回の選挙時に 実現できるように前向きに検討す るように考えています。



況の中、保険料の抑制、高齢者の 健康増進、介護保険料の軽減策の 観点から地域支援事業における介 護支援ボランティア制度の導入に ついて、検討はしていただけたの でしょうか。

いろんなところで、生活支 援コーディネーターを中心 に勉強会を開催しながら、担い手 となる介護支援ボランティアの育 成、運営主体となる組織の構築な ど、社会福祉協議会の方々と一緒 になって検討していかなければな らないと思っています。

他の市町村で実施してい る介護予防ポイント事業 は内容的には、介護支援ボラン ティア制度とほとんどおなじ内容 が盛り込まれています、どちらか 取り組めませんか。

今後検討してまいりたい と思っています。

問 スクールバスの時間帯と バス停、運行開始は

圏 試運転を含め対応、 4月7日から運行

4月開校の統合中学校のス 議員 クールバスの時間帯とバ ス停は。

朝の登校は、鷹峰方面1便 7:40島廻消防格納庫、2 便8:00大峰郵便局・池尻方面1 便7:40光輪寺、2便8:05池尻 郵便局、3便8:00新東洋団地。 放課後、部活後はその都度協議し ていきます。

自転車通学バス通学の申 請状況、バス運行開始は いつからですか。

自転車通学115名、バス 通学156名が申請をして います。バスの運行開始は始業式 の4月7日の予定です。

問 介護支援ボランティア、 介護予防事業の導入を

圏 今後、検討していく

高齢化の進む中、介護保 険料の給付額が増え、介 護保険料の上昇は避けられない状







問農業を守る。 遊休農地等の有効利用を

習 担い手や営農組合、農業法人等の 設立、推進を行う

農業に従事される人の高 齢化が進み、農業が続け られない農家が増え遊休農地、荒 廃農地、耕作放棄地が増えており ます。町として速やかな対策が必 要だと思うが、どの様に考えてい るのか。

農家の高齢化、後継者の いない農家が年々増え耕 作放棄地も増加しており、そのよ うな中、毎年農地パトロールを 行っています。遊休農地や耕作放 棄地の確認、所有者への意識調査 を行っており、現在農家を対象に 5年後の農家についてアンケート 調査を実施しており、このアン ケートに基づきまして今後行政、 農業委員会、農業最適化推進委員 によって川崎町の農地をどの様に 守って行くか、各地域で座談会を 行い、地域の担い手となる農家や 営農組合、農業法人等の設立の推 進を行っていきたい。



新規就農者の受け入れ、 担い手の育成を図り、遊 休農地の有効利用を促進すると共 に就農者の支援など自立できるシ ステムの構築をどの様に考えてい るのか。

新規就農者については、 町長 次世代人材投資資金の開 始型を5名の方が現在受けてお り、そのうち4名が遊休農地を活 用して就農しています。その他の 支援として遊休農地の斡旋や町農 地の5年間無償貸し付け、研修用 農機具の貸し付けや新興作物推進 事業助成制度の支援も行っていま す。今後も就農者に対し、支援並 びに新規就農者の受け入れの周知 を行い、就農者の確保と共に遊休 農地の有効利用を推進して、多く の方にこの様な制度を利用してい ただけるように周知していきたい。

各種支援資金等が有りま すが、この様な制度を本 町ではどれくらいの方が利用され ているのか。

次世代人材投資資金につ いては5名の方、中山間地 域等直接支払い交付金は6地区で 面積29.1ha、73人の方に658万 円、多面的機能交付金は4地区 50ha、84人の方に133万円。環 境保全型農業直接支払い交付金に

ついては、1団体5.5ha、44万円 を交付しています。

本町の農産物のブランド 化を図り特産品になるよ うにJAなどとタイアップしなが ら品質向上を進め、さらに販売促 進に取り組んでいく、そのような 考えはありますか。

農産物のブランド化、こ れは本町としても大きな 検討目標でもあります。これを推 進するため現在地元企業と一緒に 柚子の産地化を進めていきたいと 考えております。遊休農地を利用 して柚子を栽培し、それを地元企 業に買い上げて頂く。また新規就 農者にネギの栽培をしていただ き、JAの協力により共販できる 体制も整えています。ネギのブラ ンド化も視野に入れながら対応し ていきたい。今年度の事業として川 崎町の多くの田んぼにレンゲを蒔い て、来年の春にはレンゲの花でいっ ぱいになるようにしたい。そして結 果としておいしいレンゲの「はちみ つ」が取れ、それを販売推進して行 きたいと思っています。



問ふるさと納税の戦略、 返礼品の今後の構想は

圏 人気のある返礼品や体験型を用意、 3億5000万円超えを



昨年のふるさと納税額が 当初予定の2億円から3億 5,000万円と大幅増になってお り、これは町の取り組みが功を奏 したと評価しています。

これは「返礼品生産業者」「行 政の努力」そして「委託業者-さ とふる」の取り組み等が要因だっ たと考えられます。

しかしこの結果に甘んじること なく、これらを細部まで調査、検 証、分析し、さらなる向上を目指 す取り組みが必要だと思う。今後 は、同じ条件のもとに成否が分か れた自治体の例を参考にすべきと 考えるが、その施策を尋ねます。

他の自治体の成功例で人 気の返礼品は本町で可能 なものがあれば、積極的に取り組 みますが、国が認める地場産品基 準を満たすことや、いろんな制限 がかかっているため、それを守り ながら開発に努めてまいります。

オリジナル特産品の開発、町内 で使用できる食事券など川崎町に 足を運んでもらえる体験型商品な



どを検討しています。

今年のふるさと納税額の目標と 予想は、今まで以上に町内の返戻 品提供事業者の協力をいただき、 昨年の3億5,000万円を超えたい と思います。

返礼品は業者任せではな く、開発などに積極的に 意見交換をする場を行政主導でや ることが必要だと思いますが。



个画情報 業者の声や要望を聞く会な ど設けるよう検討します。

問 観光立町は美しい道路で。 不法投棄をなくせ

圏 ゴミのない道に客を迎え る、町民みんなの願い

観光立町を目指すなら、 道路の汚れはあってはな らない。

小松ヶ池の周辺道路、観光の目 玉である大ヶ原、魚楽園などの導 入道路5カ所位を指定し、特別美 化に努める。

それには行政と当該の行政区、 ボランティア、観光協会などが特 別チームで取り組むことが必要で はないですか。

町の美化は大変重要なこ と。他地域から来た方々が 川崎町に来て、ごみが散乱した町 と言われないようなきれいなまち

づくりをする、これは町に住むみ んなの願いです。

町の美化は行政だけでは難しい ので、行政区、ボランティア、い ろんな方々の力を借りて取り組ん でまいりたい。



小松ヶ池周辺の不法投棄

問 統合中学校の吹奏楽部に 期待する。厚い手当を

圏 費用面や人事面で テコ入れを図りたい

田川地区の高校の部活レ ベルを上げるには、地区

内の中学校のレベルを上げること が肝要だと様々な指導者から指摘 があったが、新中学での施策は。

中学校を統合する目的の1 つに部活動の活性化が謳わ れています。

吹奏楽部を含みすべての部活動 を活性化するために、学校と協力し てできることを実施してまいります。

今後はクラブ活動費等を検討し ていきますが、何よりも指導者が 活性化の重要な要素ですので、県 の人事とも相談し、成果を目指し たい。



問 川崎町が道の駅の新設、 どのような道の駅を整備するのか

圏 川崎町独自の、新しい道の駅をつくっていきたい

国道322号線バイパスが今年開通の予定ですが、町の経済、産業の活性化を図るための主要施設として、道の駅の整備を進めると、第6次総合計画にも上がっていますが、町長の考えは。

町長 今回、町の第6次総合計画を 策定し、今後10年間のメイン事業の1つとして、道の駅を考えて います。

これまで川崎町には拠点となるような施設等がなかったので、今後は観光そして物づくりを進めていきたいと考えています。その考えに至った背景は、322号の開通があります、今後、川崎町の基幹的な道である322号は、予想を超える交通量になってくると思われ、道の駅を計画しました。内容についてはいろんなことを考えていきたいと思っています。

道の駅が建設されることにより、農産物直売所De・愛及びレストランの競合が心配されるかと思います。

どの道の駅においても、農産物の販売は集客の目玉となっています。川崎町の農産物の出荷量を増大させなければならないと思いますが、道の駅を新設することは、農業の振興が不可欠であると思われますが、町長の考えは。

町長 農業を町の基幹産業と考えており、売れる農産物を皆さんに作っていただきたいと思っています。農産物直売所De・愛とダブるのではないかと心配があるわけですが、安真木地域で今後も観光の拠点作りとしての整備を進めていきたい。道の駅においても、当然川崎町の農産物を中心にして提供したいと考えています。

問 農業施設である、 ため池、井堰、水門、水路 の調査及び改修計画は

圏 施設管理者と協議し、 改修等を行う

本町のため池、井堰、水門、水路につきましては、昭和40年の後半から50年代にかけて、鉱害復旧事業等で改修されたものが多くあり、40年以上経過し、経年劣化等による改修が必要な施設が見受けられますが、調査及び改修計画について、町長の考えは。

町長 農業用施設については、老 朽化が大変目立っています。 その都度、地域からの要望を受け て改修を行っているのが現状であり ます。

本町では平成30年度において、 ため池34カ所の現地確認を行って おり、井堰、水門については、現地 調査は実施できていないのが現状です。本流となる大きな水路は把握していますが、小さな水路は、町内全域にまたがるために把握することが難しい状況であるので、今後は、施設管理者と現地調査を実施し、修繕改修が必要な箇所については、対応していきたいと考えます。

今回、受益者分担金の率も改正 しましたので、農業施設の改修も受 益者と一緒になって一層進むのでは ないかと思っています。

ため池や井堰から繋がる水路や水門は、農業を営む上での重要なインフラであり、老朽化が進んでいると思われます。

現在、農家の高齢化、後継者不足は深刻となっています。農業用施設の改修等は、受益者からの要望により事業を取り組むということになっていますが、現状を十分に調査し、国県による補助事業対応を早期に図るためにも重要であると思われます。町長の考えは。

町長 農業振興において大変重要 な問題です。国県の補助事業を多く活用しながら、幅広い農業 基盤整備を進めていきたいと考えています。

WARDEN SEE 委員会レポート

委員会の活動状況を報告します





建設度業常作委員会

特産品の開発状況は

商品化に向け開発が進んでいるアップルパイを試 食しました。カスタードとミルクあんの2種類を作って おり、賞味期限の長さや価格はまだこれから、というと ころでした。

おいしくできていましたので、価格やパッケージな ど、売れる商品になるようこだわっていただきたいです。

また、直売所で販売しているジャム等の瓶詰商品 についても、材料など説明を受けました。今後は、リン ゴを使った料理家の方とのコラボスイーツを開発予 定とのことで、川崎町のアピールにつながる特産品が できることを期待しています。

委員会からは、リンゴだけでなく他の物での特産品 開発も検討していただくよう提言いたしました。



アップルパイの試食の様子

町営住宅の入居に関して

町営住宅の入居については、2度の条例改正により 入居要件が緩和され、条例改正前には入居が叶わな かった方も入居に至った実績もあります。

また、人口の減少に伴う空き家や、耐震性のない住

宅については、川崎町営住宅長寿命化計画にのっと り除却をし、団地の集約化を進めているところです。

執行部には、申込から入居に至るまでの日数をもつ と短くするよう要請いたしました。

■条例改正内容(抜粋)

【平成30年9月議会】条例一部改正 抽選回数:年2回 →年2回以上(実質4回)

【令和元年10月議会】条例一部改正 条例中:60歳以上→20歳以上

- ●一度公募を行った住宅については公募済 み住宅として取り扱う
- ●公募済み住宅については抽選ではなく先 着順での受付

統合中学校の通学路の工事の進捗状況は

通学時の安全を確保できるよう、歩道、自転車道、 車道とそれぞれ十分な幅のある通学路を建設してい ます。

工事が開校後も続きますが、しつかりと安全対策を 行い送迎の車が出入りできるようにします。1日も早い 完成を、委員会から要請いたしました。



工事中の通学路

民华文教常任委員会



統合中学校を視察

建設中の新校舎の現場、新駐車場、永井の新設道 路について現地確認をしました。

新校舎については、ほぼ完成し、最終的な仕上げを 行っていました。体育館の外壁を、できれば正面側だ けでも綺麗にしてほしいと要望しました。

体育館シューズ

再検討後、執行部から指定品及び代替品の提示 がありましたが、保護者負担が軽減されているという 印象ではありませんでした。

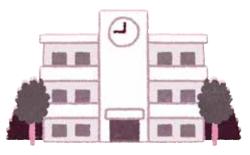
生徒の通学方法

生徒が安全に通学ができ、かつ保護者が安心して 学校に送り出せるように、自転車通学となる生徒がで きるだけバスを利用できるような改善案についての要 望書を教育委員会へ提出したところ、バス通学の許 **可条件**を「バス通学を希望する生徒の中から、バス のコース及び乗車定員を考慮し、学校から自宅まで の距離が遠い生徒から順に優先して許可する。」とい う回答があり、バスの空席の状況によっては、2キロ台 の生徒でも許可することもあるということでした。

また、運行回数は、鷹峰、池尻方面については朝2 便、放課後2便、部活動1便であり、安眞木方面につい ては、朝1便、放課後1便、部活動1便とふれあいバス を活用するということでした。

自転車通学については、学校から自宅までの経路 が2キロ以上の生徒、並びに部活動に入っている生 徒について許可ということでした。

その他では、旧西山商会から永井方面に向かう町 道、またそこから谷木工所にあがる町道については、 道も狭く、交差点などは見通しが非常に悪く、危ない ので、執行部に対し、道路の拡幅工事や応急措置とし て水路に床板などを設置してもらう、また、交差点周辺 の木や草を除去してもらうことについて、執行部へ要 望書を提出しました。





子育て支援センター現場視察

子育て支援センター移転工事現場に行き、プレイ ルーム、トイレ、手洗い場などを視察。

委員からは、手洗い場の高さや手洗い場の角の改 善、踏み台がすべらないようにするなど、みんなが利 用しやすい施設にしてほしいと要望しました。



民間保育園の処遇改善は?

民間保育園の処遇改善とは、1つ目は、職員の経験 年数に応じた処遇改善と人件費の加算であり、2つ 目は、技能、経験を積んだ職員などに係る追加的な人 件費の加算であるということでした。

処遇改善の措置の確認については、毎年実績報告 書と賃金台帳を各園より提出していただいて、審査し ているとのことでした。

この調査につきましては、今後も引き続き行っていこ うと思います。

犯罪被害者等支援への取り組み

川崎町と田川警察署が川崎町における安全と安心 の醸成と川崎町の更なる発展のための協定を締結し たことを受け、委員会としてこの協定を更に発展させ、 中身の濃いものにするため、犯罪被害者等支援条例 の審議をしているところです。







議会報告会に向け防災対策の現状を調査

2月28日に開催が予定されていた議会報告会の 総務常任委員会のテーマである防災対策について、 ①川崎町の近年の風水害の被災状況、②自助・共助 の取り組み、③防災情報等の発信手段、④ハザード マップの作成状況、⑤消防団の現状、⑥防災セン ターの資機材や備蓄品の状況、以上6項目の調査を 行いました。



川崎町の適正な職員数は?

人口規模が同程度の町と職員数を比較

総務課から提出された、川崎町の類似団体である 鞍手町及び築上町との人口、世帯数、職員数、公営住 宅戸数、生活保護率を比較した資料によると、3町が ほぼ同程度の人口規模であるのに対し、平成30年4 月の職員数は川崎町が238人に対し、鞍手町は136 人、築上町は199人であり、年々職員数が減っている ものの、類似団体と比べると川崎町の職員数は多い 状況であります。

公営住宅戸数及び福祉関連業務の多さが 職員数に影響

公営住宅戸数が鞍手町463戸、築上町825戸に比 べ、川崎町は2,477戸と多いこと。また、生活保護率 が2町に比べて高く、これらの扶助費に関連した福祉 関連業務が他の町に比べ多いことが、職員数の多い 要因につながっているものと考えられます。

また、3町の財政状況を示す指標を比べた場合、財 政力指数の低さや義務的経費の占める割合の高さな どにおいて、厳しい財政状況であることを確認しました。

■類似団体との比較表

	人 口 H31年1月	世帯数	職員数
川崎町	16,805人	8,862世帯	238人
鞍手町	16,078人	7,503世帯	136人
築上町	18,497人	8,880世帯	199人

	公営住宅 戸 数	生活保護率 (H28)	財政力指 数	義務的 経 費
川崎町	2,477戸	1.671	0.30	50.6
鞍手町	463戸	0.427	0.47	44.4
築上町	825戸	0.289	0.34	35.5

現在の課別の職員数を確認

町から提出された所属課別職員数の資料による と、現在、川崎町には課長23名、係長46名、一般職 143名、それにフルタイムの再任用職員22名の合計 235名の職員が在籍し、その他の職員として短時間 の再任用職員14名、嘱託職員46名、臨時職員24名 がいます。

国は公務員の65歳定年延長を検討

現在、国のほうで国家公務員の65歳までの定年延 長が検討されており、決定されれば地方公務員も同じ ように現在の60歳定年が3年ごとに1歳ずつ延長さ れ、最終的には65歳まで定年が延長されることになり ます。

職員定数に関する調査については、次回の委員会 で職員数と人件費の推移を比較した資料を提出して いただき、引き続き調査を行うことを確認しました。



令和元年度 第8回川崎町議会(1月会議) 議案 一覧と賛否 結果

区分	案 件 名	内 容	費 否の 結果 中北小手川手松繁見寺千原仙松大嶋 山代田鶏根康田永月田葉 口岡谷
報告	専決処分の報告 (川崎町印鑑条例の 一部を改正する条例)	条例中の文言の改正	報告のため採決はありませんでした
H→	財産の取得	統合中学校の生徒用備品を購入するもの	(可決) 簡易表決
財産	財産の取得に係る議決内容の一部変更	令和元年9月に議決した契約金額を 消費税率改定に伴い変更するもの	(可決)簡易表決
予補 算正	令和元年度川崎町一般会計補正予算 (第4号)	ふるさと納税寄附額の大幅増に伴い 返戻品等に係る予算を補正するもの	(可決)簡易表決
発委	地元負担のない鉄道によるJR日田彦山 線の早期復旧に関する意見書の提出	P7 を参照	(可決)簡易表決

令和元年度 第9回川崎町議会(3月会議) 議案 一覧と賛 否 結果

			*** *** *** *** *** *** *** *** *** **		
区 分	案 件 名	内 容	賛 否 の 結 果 中 北 小 手 川 手 松 繁 見 寺 千 原 樋 松 大 嶋 山 代 田 寛 根 康 田 永 月 田 葉 口 岡 谷		
報告	専決処分の報告	P5 を参照	報告のため採決はありませんでした		
	川崎町附属機関の設置に関する条例 の制定	地方公務員法の改正により 新たに条例を制定するもの	(可決)簡易表決		
	地方公務員法及び地方自治法の一部 を改正する法律の施行に伴う関係条 例の整備に関する条例	条例中の文言の改正	(可決)簡易表決		
	川崎町議会の議員その他非常勤の職 員の公務災害補償等に関する条例の 一部を改正する条例	条例中の文言の改正	(可決)簡易表決		
	川崎町非常勤職員の報酬及び費用弁償 等に関する条例の一部を改正する条例	条例中の文言の改正	(可決)簡易表決		
-	川崎町一般職の職員の給与に関する 条例の一部を改正する条例	人事院勧告等に準じた条例の改正	(可決)簡易表決		
条例	川崎町企業職員の給与の種類及び基 準に関する条例を廃止する条例	田川広域水道企業団統合に伴う、 条例の廃止	(可決)簡易表決		
	川崎町補助金の交付に関する条例の 一部を改正する条例	P5 を参照	(可決)簡易表決		
	川崎町特定教育・保育施設及び特定 地域型保育事業の運営に関する基準 を定める条例の全部を改正する条例	子ども・子育て支援法の改正に伴う、 条例の全部改正	(可決)簡易表決		
	川崎町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	条例中の文言の改正	(可決)簡易表決		
	川崎町施設使用料徴収条例の一部を 改正する条例	中学校の統合に伴う、 条例中の文言の改正	(可決)簡易表決		
	川崎町農業土木事業に係る受益者分 担金徴収条例の制定	P5 を参照	(可決)簡易表決		
	令和元年度川崎町一般会計補正予算 (第5号)	P4 を参照	(可決)簡易表決		
補正予	令和元年度川崎町学校給食センター 特別会計補正予算(第3号)	P4 を参照	(可決)簡易表決		
· 算	令和元年度川崎町国民健康保険事業 勘定特別会計補正予算(第3号)	P4 を参照	(可決)簡易表決		
	令和元年度川崎町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	P4 を参照	(可決)簡易表決		
当初予算	令和2年度川崎町一般会計予算	P2、P3 を参照	(可決)簡易表決		
	令和 2 年度川崎町学校給食センター 特別会計予算	P4 を参照	(可決)簡易表決		
	令和 2 年度川崎町国民健康保険事業 勘定特別会計予算	P4 を参照	(可決)簡易表決		

当初予算	令和 2 年度川崎町住宅新築資金等 貸付事業特別会計予算	P4 を参照	(可決)簡易表決
予算	令和 2 年度川崎町後期高齢者医療 特別会計予算	P4 を参照	(可決)簡易表決
選任	川崎町固定資産評価審査委員会委員 の選任	任期満了に伴い、新たに 委員(上条 一)を選任するもの	(同意)簡易表決
任命	川崎町農業委員会委員の任命	任期満了に伴い、新たに委員 (松江 英幸、政時 修、星野 宗広、 田所 義信、重藤 義光、原口 友博、 中島 隆、原 健治、大内田 峰夫、 西山 一郎、中村 明、山下 理江、 藤川 航) を任命するもの	(同意)簡易表決 原 健治 氏の採決時のみ原議員除斥
選挙	選挙管理委員の選挙	任期満了に伴い、新たに委員 (山口 明、田原 英和、野見山 芳子、 坂口 三枝子)が当選したもの	(当選)簡易表決
	選挙管理委員補充員の選挙	任期満了に伴い、新たに補充員 (長弘 純子、野田 喜久生、財前 琢磨、 藤川 善和) が当選したもの	(当選)簡易表決
指名	一般社団法人川崎町観光協会理事の 指名	任期満了に伴い、新たに 理事(手嶋 康徳)を指名するもの	(可決)簡易表決
選定	川崎町名誉町民の選定	P6 を参照	(可決)簡易表決
発委	川崎町議会委員会条例の一部を改正 する条例	P5 を参照	(可決)簡易表決
	国土強靭化地域計画策定による安心・ 安全なまちづくりに関する決議	P7 を参照	(可決)簡易表決
和解	和解及び損害賠償の額の決定	調停中の事件について 和解を成立させるもの	(可決)簡易表決
変更	川崎町辺地総合整備計画に係る議決 内容の一部変更	計画中の日付を改正するもの	(可決)簡易表決
	第6次川崎町総合計画	P6 を参照	(可決)簡易表決
	第 2 次川崎町総合戦略	P6 を参照	(可決)簡易表決
計画	川崎町子どもの未来応援計画	P6 を参照	(可決) 簡易表決
	第2期川崎町子ども・子育て支援 事業計画	P6 を参照	(可決) 簡易表決
指定	指定管理者の指定	川崎町農産物加工所の 餅惣菜棟の指定管理者を 株式会社 川崎アグリに指定するもの	(可決)簡易表決
請願	請願の取り下げ	12 月議会で提出された 池尻中古墳(仮称)発掘調査推進に 関する請願書を取り下げるもの	(可決)簡易表決
	医療・介護労働者の全国を適用対象 とした最低賃金 (特定最低賃金)新 設と労働条件の改善を求める意見書 の提出に関する意見書	P7を参照	(可決)簡易表決
廃止	議会だより編集特別委員会の廃止	広報広聴常任委員会の設置に伴い 議会だより編集特別委員会を廃止するもの	(可決)簡易表決

※簡易表決とは…あらかじめ議員全員の賛成が見込まれる場合に、議長が賛成者の起立を求めず「異議ありませんか」と諮る ことにより可否を問う採決方法です。

※除斥とは…利害関係のある議員を、その議案の審議に参与させないことです。

※賛否同数の場合は議長が可否を決します。



議会の傍聴においでください

次回定例会予定

◎6月 2日…本会議(初日)

◎6月 5日…本会議(中日)

◎6月10日…本会議(一般質問)

◎6月11日…本会議(最終日)

今回の



て しま ひであき 手嶋 秀昭さん (西田原行政区)

川崎町名誉町民に選出されて

私にとりましてはありがたい名誉だと思います。町議会議 員4期16年、県議会議員4期16年、町長2期8年をつとめ川 崎町の政治改革を進めていかなくてはならない使命感でい ました。皆様から評価いただいたことに感謝しています。川 崎町の発展のため陰ながら尽くしていきます。

これからの川崎町に求めること、期待することなど

子どもの教育を強めていく!これが一番大事です。中学校 3校統合もこれから出発するので、小中連携して教育力の向 上が重要だと思っています。子どもの意識が変われば、親の 意識が変わり地域住民が変わっていく。そのことが川崎町の 発展の起爆剤になり、企業誘致・働く場の確保・安定して住 み続けることができる環境が整っていく、そのように思って いますので、川崎町が発展することを期待しております。

農業の振興をはかることによって、地域経済の活性につな がっていくことも期待しております。

33333333 △△追跡レポー

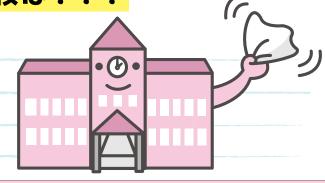
統合に伴い廃校となった 旧池尻中学校・旧鷹峰中学校は???

その後の利用方法は未定!

体育館は各団体の練習場として利用可能 /

ご利用の際は、教育委員会へご連絡ください。

☎ 0947-72-3000(内線403·450)



編集 後記

平時であれば、プロ野球のオープン戦、大相撲春場所、春の甲子園選抜高校 野球、桜の花見、卒業式や入学式、企業にあっては春の異動、年度の変わり目で いろいろなニュースが世間を賑わせていますが、今年に開催される予定であった、 東京オリンピックが1年延期となり、私達の目にはコロナの方へ向かざるを得ない 状況であります。ここ数日は全国的に集団感染の急増など、医療崩壊を目の前に して自宅待機の強化が強いられています。「地方でも感染拡大」が叫ばれています。 感染の拡大を防ぐには、「人の密集」、「密接した近距離での会話」、「換気の 悪い密閉空間 | の3密を避けることが重要といわれています。「マスクをして、手 を洗い、十分な睡眠をとりし、不要不急の外出をせず、唯々収束を願うばかりです。

						$\overline{}$		\Box
委	委	委	委	副	委	监	議	発
				妥 員	員			[発行責任者]
員	員	員	員	長	長	瑞 常	長	古者
						賃		
_			_			安昌		
手	寺	Ш	手	小	中	会	櫻	
嶋	田	根	嶋	田	山		井	
真		節	康		信		英	
出	墾	牛	徳	卢	和		*	
_			NGV	-	714			
	委員手嶋真由美	員 手嶋 真由	員 手嶋真由	身 手嶋 真由	人 手 場 事	員長 中山信 計 事場 財 事場 財 財 <t< th=""><th>報広聴常任委員会 員 長 中 山 信 委員長 小 田 員 川 根 節 康</th><th>点 中 山 信 点 中 山 信 点 中 山 信 点 一 中 山 信 点 一 一 上 本 点 一 一 上 本 点 一 一 上 上 上 上 点 一 一 上</th></t<>	報広聴常任委員会 員 長 中 山 信 委員長 小 田 員 川 根 節 康	点 中 山 信 点 中 山 信 点 中 山 信 点 一 中 山 信 点 一 一 上 本 点 一 一 上 本 点 一 一 上 上 上 上 点 一 一 上